

秋田市教育委員会
令和8年2月定例会
(当日配布資料①)

【資料目次】

教育長等の報告

- | | |
|--|-----|
| (1) 市立高等学校等の入学者選抜志願者状況等について | … 1 |
| (2) 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について | … 2 |

市立高等学校等の入学者選抜志願者状況等について

1次募集（特色選抜・一般選抜）における入学願書の志願先変更受付を締め切りましたので、最終の志願状況について報告します。

1 志願者状況等

学校名	(令和8年度入学者)						
	募集定員	選抜区分	(a) 募集人員	(b) 志願者数	(c) 受検者数	(d) 合格者数	(b/a) 倍率
御所野学院	80	連携型選抜	24	25	25	24	1.04
		1次募集（一般＋特色）	56	39			0.70
		うち特色選抜	16	3			0.19
		2次募集					
		合計	80	64			0.80
秋田商業	210	1次募集（一般＋特色）	210	230			1.10
		うち特色選抜	84	97			1.15
		2次募集					
		合計	210	230			1.10

※倍率は、志願者数(b)／募集人員(a)による志願倍率

美大附高	30	一般選抜	30	33	33	30	1.10
------	----	------	----	----	----	----	------

※倍率は、受検者数(c)／合格者数(d)による実質倍率

※今年度から専願のみ募集

《参考》

学校名	(令和7年度入学者)						
	募集定員	選抜区分	(a) 募集人員	(b) 志願者数	(c) 受検者数	(d) 合格者数	(b/a) 倍率
御所野学院	80	連携型選抜	24	24	24	24	1.00
		1次募集（一般＋特色）	56	64	59	56	1.14
		うち特色選抜	16	9	9	9	0.56
		2次募集	-	-	-	-	-
		合計	80	88	83	80	1.10
秋田商業	210	1次募集（一般＋特色）	210	192	189	189	0.91
		うち特色選抜	84	70	70	70	0.83
		2次募集	21	25	23	21	1.19
		合計	210	192	212	210	0.91

※倍率は、志願者数(b)／募集人員(a)による志願倍率

※御所野学院の1次募集人員(56)は、募集定員(80)から連携型選抜の合格者(24)を除いた人数(80-24)欠席者5名は、国立高専受験1名、県内私立高校受験者4名

※秋田商業の欠席者3名は、県内私立高校受験者3名

美大附高	30	一般選抜	30	60	60	30	2.00
------	----	------	----	----	----	----	------

※倍率は、受検者数(c)／合格者数(d)による実質倍率

※合格者30名のうち、4名が併願者で4名とも入学を辞退した。

2 今後のスケジュール（秋田商業高校、御所野学院高校）

3月	4日（水）	1次募集学力検査等実施日
	13日（金）	〃 合否通知（特色、一般）
	16日（月）	2次募集出願開始
	17日（火）	〃 締切
	19日（木）	2次募集面接等実施日
	24日（火）	〃 合否通知

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について

1 調査の目的

本調査は、国が全国的な子どもの体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的とする。

加えて、教育委員会や学校においても、本調査結果を活用し、子どもの体力や運動習慣等の状況を把握するとともに、課題に対応した施策の実施や体育・保健体育の授業等の充実・改善に役立てることを目的とする。

2 調査の概要

- ・ 小学校第5学年1,995名、中学校第2学年1,857名が参加
- ・ 実技に関する調査

- [小学校8種目]
- ①握力（筋力）
 - ②上体起こし（筋パワー・筋持久力）
 - ③長座体前屈（柔軟性）
 - ④反復横とび（敏捷性）
 - ⑤20mシャトルラン（全身持久力）
 - ⑥50m走（疾走能力）
 - ⑦立ち幅とび（筋パワー・跳躍能力）
 - ⑧ソフトボール投げ（巧緻性・投球能力）

- [中学校8種目]
- ①握力（筋力）
 - ②上体起こし（筋パワー・筋持久力）
 - ③長座体前屈（柔軟性）
 - ④反復横とび（敏捷性）
 - ⑤持久走（全身持久力・長距離走能力）※
 - ⑥20mシャトルラン（全身持久力）※
 - ⑦50m走（疾走能力）
 - ⑧立ち幅とび（筋パワー・跳躍能力）
 - ⑨ハンドボール投げ（巧緻性・投球能力）
- ※⑤か⑥のいずれかを選択して実施

- ・ 質問調査
運動習慣や生活習慣等に関する質問調査

3 本市調査結果の概要

(1) 実技に関する調査結果

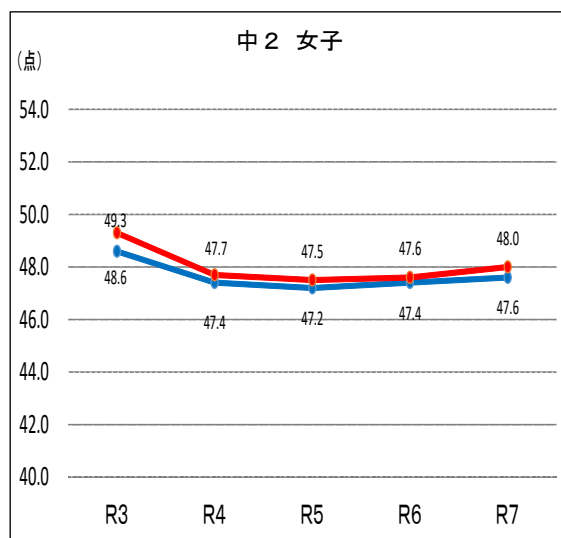
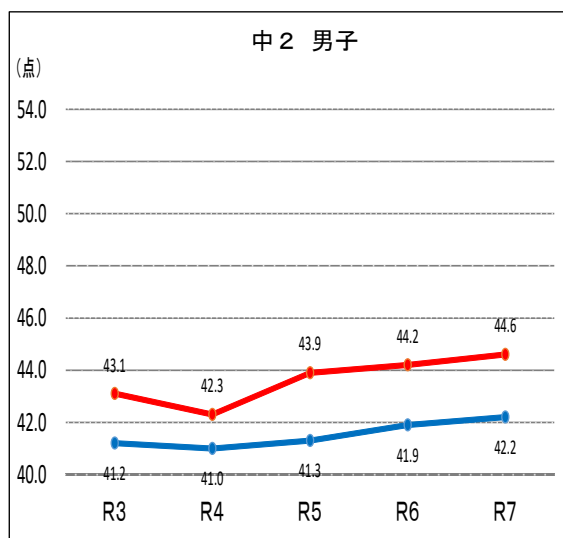
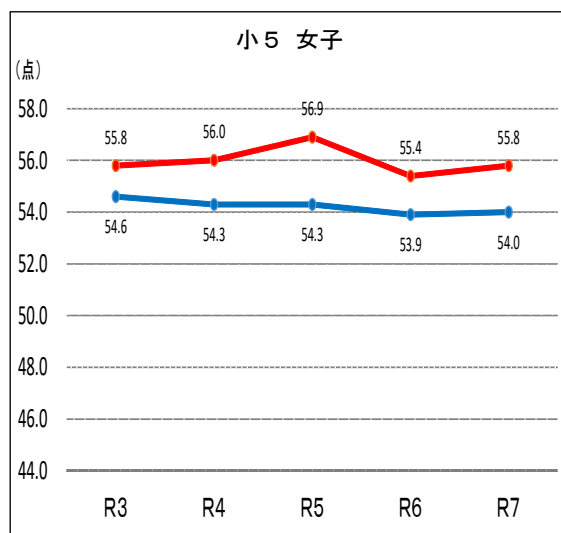
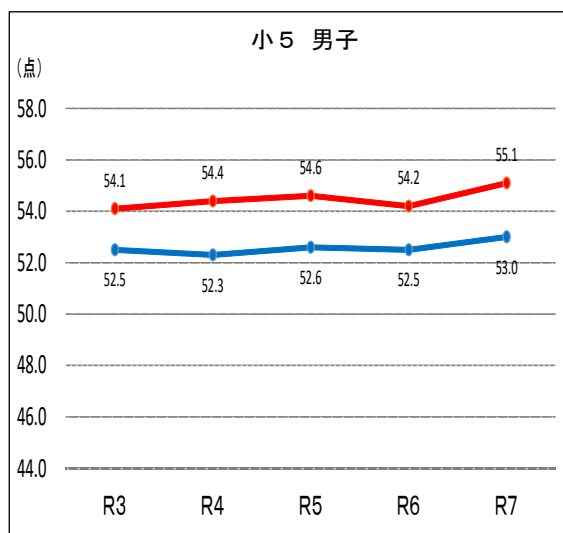
①体力合計点※の結果

		合計点 (平均値)	
		秋田市	全国
小5	男子	55.1	53.0
	女子	55.8	54.0
中2	男子	44.6	42.2
	女子	48.0	47.6

※ 8種目の項目得点（1点～10点）を合計したもの。各種目の項目得点の基準は、年齢別・男女別に異なる。

②体力合計点の経年変化

● 秋田市 ● 全国



③総合評価※の分布

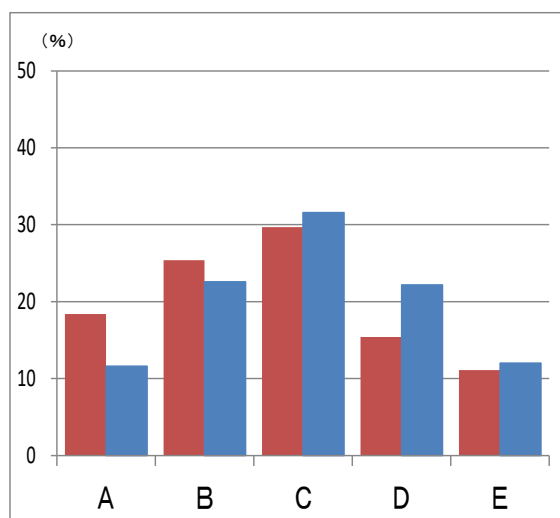
	総合評価基準				
	A	B	C	D	E
10歳	65以上	58～64	50～57	42～49	41以下
13歳	57以上	47～56	37～46	27～36	26以下

※ 体力合計点を総合評価基準にしたがい、5段階に分けて評価したもの。

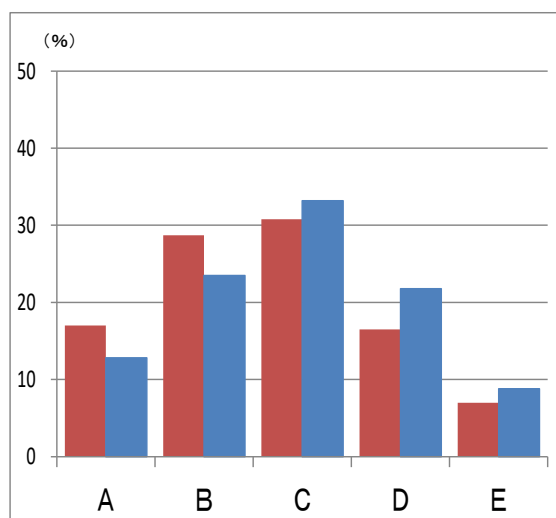
■ 秋田市 ■ 全国

○小5

男子

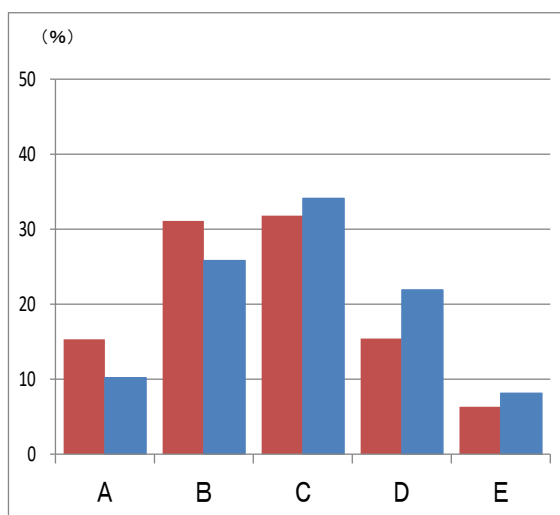


女子

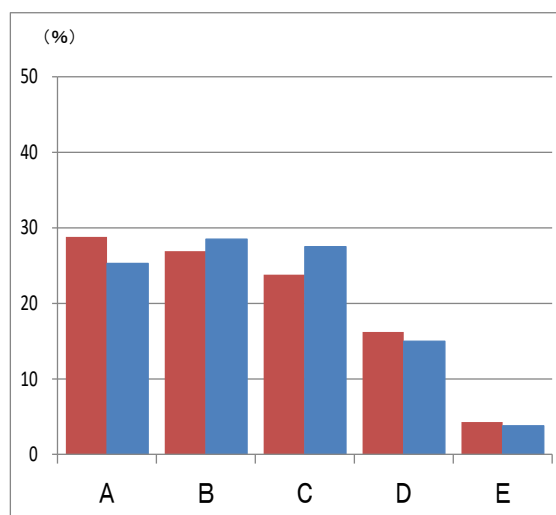


○中2

男子



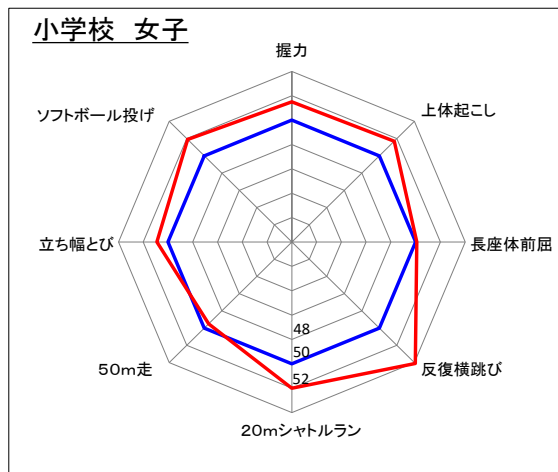
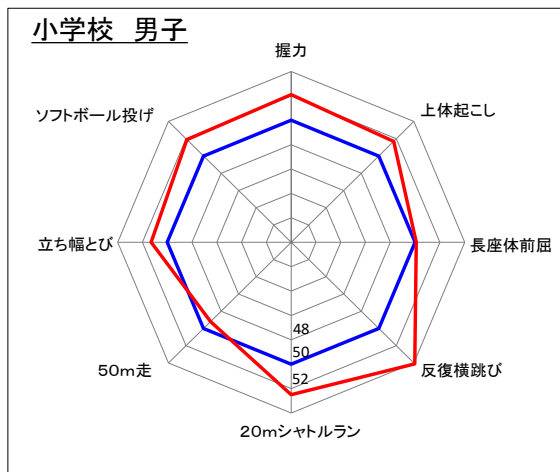
女子



④各種目の結果

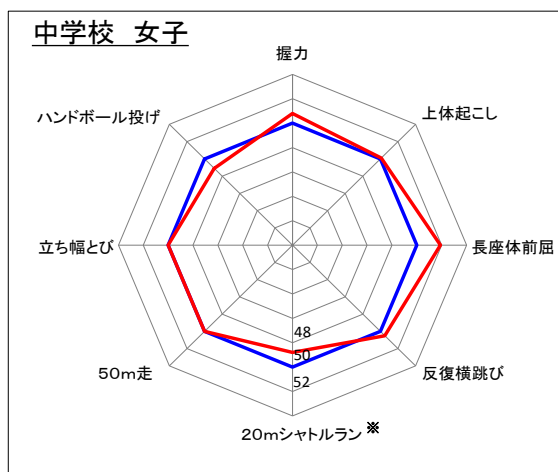
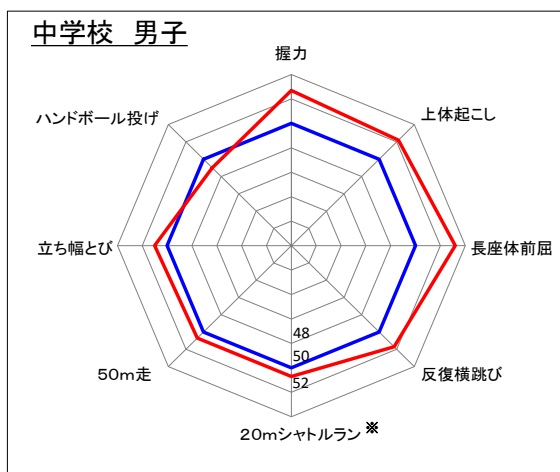
実技8種の項目について、全国の種目別平均値を50と換算し、全国平均値に対する本市の種目別平均値を相対的に示しています。

— 秋田市 — 全国



50m走 秋田市 9.6秒
全国 9.5秒

50m走 秋田市 9.8秒
全国 9.8秒



50m走 秋田市 7.9秒
全国 8.0秒

50m走 秋田市 9.0秒
全国 9.0秒

【参考】令和4年度結果（現中2が小5の時）

50m走 秋田市 9.7秒
全国 9.5秒

50m走 秋田市 9.9秒
全国 9.7秒

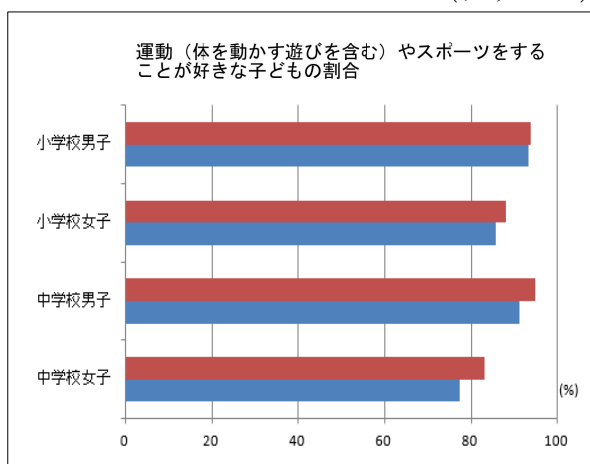
※ 持久走と20mシャトルランの選択について
 中学校の実技調査では、持久走と20mシャトルランのいずれかを選択して実施することとなっています。本市では、両種目を実施した中学校もありましたが、上のグラフには、全ての学校が実施した20mシャトルランの結果を掲載しています。

(2) 質問調査結果

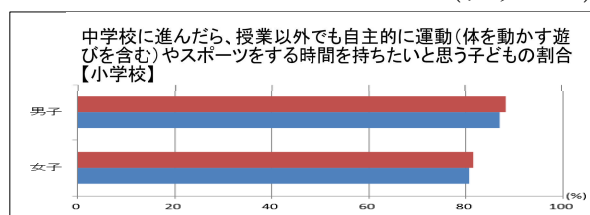
■ 秋田市 ■ 全国

○運動・スポーツに関する意識について

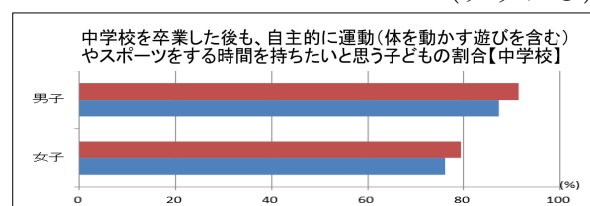
(グラフ 1)



(グラフ 2)



(グラフ 3)



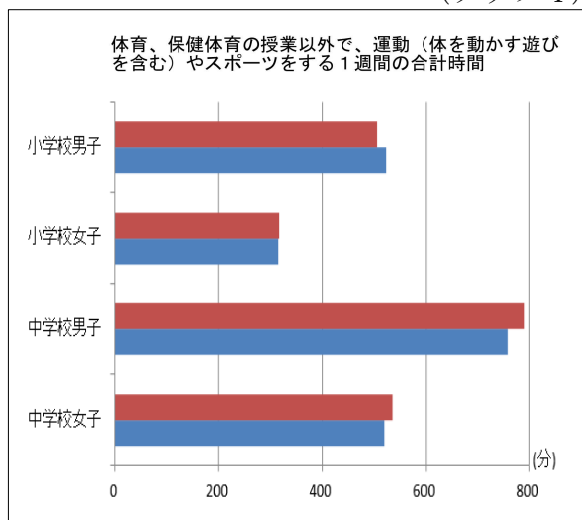
グラフ 1：「好き」「やや好き」と回答した子どもの割合は、小学校男子、中学校男子で90%以上、小学校女子、中学校女子で80%以上となっており、いずれも全国平均を上回っています。中学校女子は、全国平均を6.0ポイント上回っています。

グラフ 2：「思う」「やや思う」と回答した子どもの割合は、いずれも80%以上となっており、全国平均を上回っています。

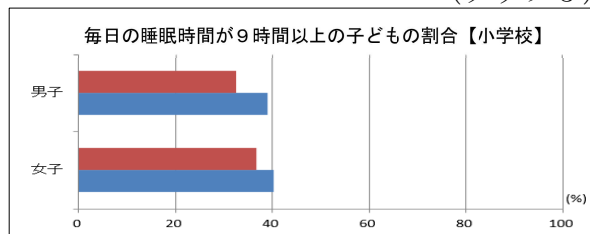
グラフ 3：「思う」「やや思う」と回答した子どもの割合は、男子で90%以上、女子で75%以上となっており、いずれも全国平均を上回っています。

○運動習慣・生活習慣について

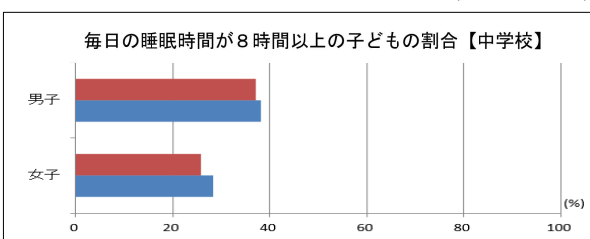
(グラフ 4)



(グラフ 5)



(グラフ 6)



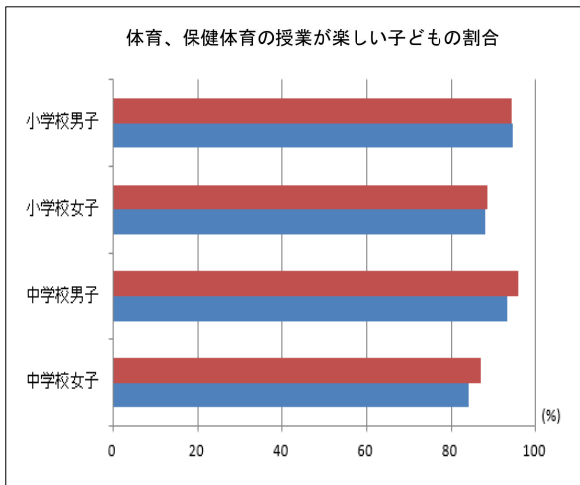
グラフ 4：一週間の合計時間は、小学校女子、中学校男女で全国平均を上回っています。小学校男子は、全国平均を17.4分下回っています。

グラフ 5：男子で32.6%、女子では36.6%となっており、いずれも全国平均を下回っています。

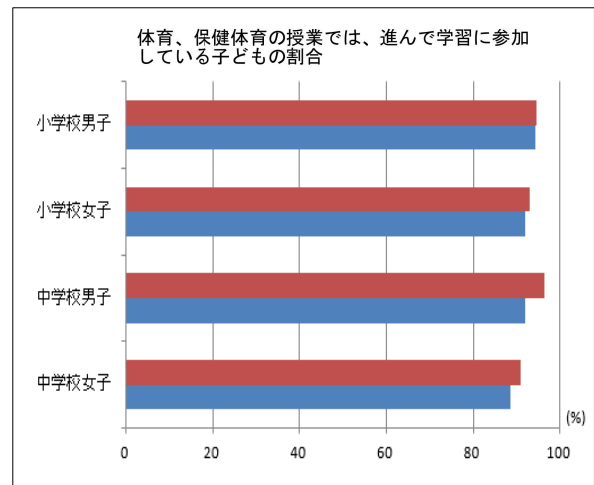
グラフ 6：男子で37.1%、女子では25.8%となっており、いずれも全国平均を下回っています。

○体育、保健体育の授業について

(グラフ 7)



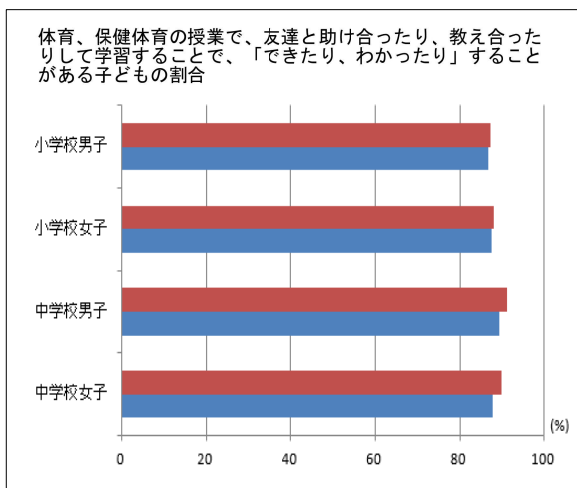
(グラフ 8)



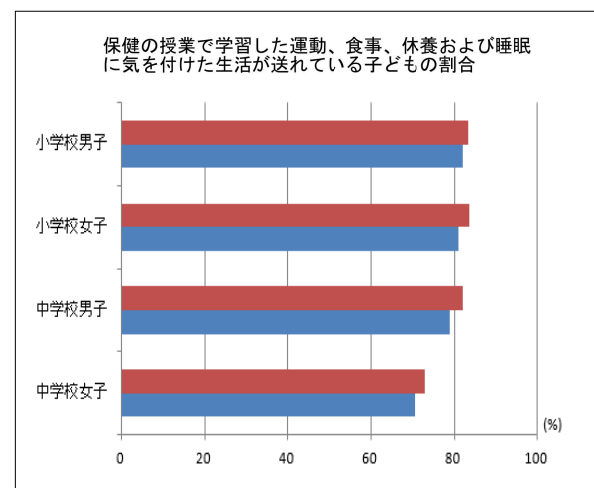
グラフ 7 : 「楽しい」「やや楽しい」と回答した子どもの割合は、小学校男子、中学校男子で90%以上、小学校女子、中学校女子では85%以上となっております。

グラフ 8 : 「いつも進んで」「だいたい進んで」学習に参加していると回答した子どもの割合は、小学校男女、中学校男女共に90%以上となっており、いずれも全国平均を上回っています。

(グラフ 9)



(グラフ 10)



グラフ 9 : 「いつもある」「だいたいある」と回答した子どもの割合は、小学校男女で85%以上、中学校男女では90%以上となっており、いずれも全国平均を上回っています。

グラフ 10 : 「気を付けて生活していると思う」「やや思う」と回答した子どもの割合は、小学校男女、中学校男子で80%以上、中学校女子では70%以上となっており、いずれも全国平均を上回っています。

4 今後の取組

(1) 小学校

①実技に関する調査の結果から

- ・体力合計点において男女共に全国平均を上回るとともに、実技8種目中7種目が全国平均を上回っています。今後も、子どもが体を動かす楽しさを実感できるよう、スモールステップによる段階的な指導の充実に努めます。
- ・疾走能力の向上のために、ICT機器を活用し、スタート時の前傾姿勢や中間疾走時のリズムカルな足の運び等についてアドバイスし合う活動を設定するなど、「分かる」ことが「できる」ことにつながる指導の工夫を図ります。

②質問調査の結果から

- ・「体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した子どもの割合は、男子で87.2%、女子では88.1%となっており、全国平均を上回っています。今後も、互いのよさや頑張りを認め合ったり、動きのこつや気付いたことを教え合ったりする機会を設けるなど、仲間と共に運動することのよさを感じることができるような指導の充実に努めます。
- ・子どもが日常的に運動する習慣を身に付けることができるよう、各校の実情に応じて運動に親しむ機会の充実に努めるとともに、本調査の結果を保護者と共有し、家庭でできる運動を紹介するなど、家庭との連携に努めます。

(2) 中学校

①実技に関する調査の結果から

- ・各種目の結果において全国平均を下回っている項目があるものの、体力合計点では男女共に全国平均を上回っています。今後も、体を動かすことの楽しさや心地よさを味わうことができる指導の充実に努めるとともに、敏捷性や巧緻性、全身持久力などをバランスよく高められるような指導の工夫を図ります。
- ・投球能力の向上のために、体づくり運動や準備運動にボールを投げる動きを取り入れたり、ボールの握り方や体重移動等、投運動の一連の動きを動画で確認する活動を設定したりするなど、指導の工夫を図ります。

②質問調査の結果から

- ・「保健体育の授業では、進んで学習に参加している」と回答した子どもの割合は、男子で96.4%、女子では90.9%となっており、全国平均を上回っています。今後も、個の実態に応じて活動内容や練習方法を選択させる場面を取り入れたり、学習の成果を実感できる振り返りの場面を設定したりなど、子どもが自ら学びを進めることができるような指導の工夫を図ります。
- ・子どもが健康の保持増進について理解を深め、自らの生活習慣について意識を高めることができるような指導の工夫を図るとともに、運動、食事、休養・睡眠などの調和のとれた生活習慣を身に付けることができるよう、家庭等との連携に努めます。